

倫理・コンプライアンス基本方針

私たちは、バイオテクノロジーの革新を通じて社会に貢献し、持続的な成長を目指す企業として、高い倫理観と誠実さを経営の最優先事項に掲げます。私たちは、将来の上場（IPO）を見据え、公正かつ透明性の高いガバナンス体制を構築し、すべてのステークホルダーから信頼される企業であることを約束します。法令遵守はもとより、科学に携わる者としての矜持を持ち、一人ひとりの良識ある行動によって、清廉で開かれた企業文化を築き上げます。

1. 生命倫理と科学的誠実性の堅持

私たちは、バイオテクノロジーが社会に与える影響の大きさを深く認識し、生命の尊厳を最優先に事業活動を行います。ヒト由来試料の取り扱いに際しては、国の定める指針および学術的倫理基準を遵守し、インフォームド・コンセントの確認と倫理審査委員会の承認に基づく適正な運用を徹底します。また、研究開発および検査サービスの全過程において、データの捏造、改ざん、盗用といった不正行為を断固として排除し、科学的妥当性と客觀性を備えた信頼性の高いデータを提供することで、学術および医療の発展に寄与します。

2. 知的財産の保護と情報の厳格な管理

持続的なイノベーションの源泉である知的財産を戦略的に保護・活用するとともに、他者の知的財産権を尊重し、権利侵害の防止に努めます。事業を通じて取り扱う医療情報、ゲノム情報等の個人情報および顧客・提携先の機密情報については、ISO/IEC 27001に準じたな情報セキュリティ体制を構築し、漏洩、紛失、不正アクセスの防止を徹底します。情報の適正な管理を組織の存立基盤と捉え、全役職員がその責任を全うすることで、ステークホルダーからの確固たる信頼を構築します。

3. 公正なビジネス慣行と腐敗防止

私たちは、医療機関、研究機関、行政機関等との健全かつ透明な関係を維持し、不適切な接待、贈答、その他の贈収賄に類する行為を一切行いません。産学連携等において生じる利益相反については、社内規程に基づき適切に特定・管理し、業務の公平性が疑われるこのないよう透明性を確保します。また、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは一切の関係を持たず、不当な要求に対しては組織全体として毅然とした態度で臨みます。

4. コンプライアンス経営の推進と自浄作用

法令および社内規程の遵守はもとより、高い倫理観を持って良識ある企業活動を推進します。役職員が不適切な行為を察知した際に、心理的安全性を保ちながら通報・相談できる内部通報窓口を適切に運用し、問題の早期発見と自浄作用の強化に努めます。万が一、本方針に反する事態が発生した場合には、経営トップの指揮のもと速やかに原因究明と再発防止策を講じ、説明責任を果たすことでガバナンスの維持・向上を図ります。

2026年1月21日
プロテオブリッジ株式会社
代表取締役 熊谷 亮